

『地域公開保育』アンケートより一部抜粋

11月8日(金)に開催された地域公開保育には、坂地区の民生委員児童委員の皆様を始めとして、園児の祖父母の皆様、未入園の乳幼児とその保護者、教育委員会の皆様など32名余りのご参加をいただきました。坂みみょう保育園第三者委員の小迫清志様、見藤洋子様とは、一日園長として保育園運営上の情報交換やご相談もさせていただきました。地域の皆さんが集える場として、保育園が存在していることを改めの感じたところです。たくさんのご意見、ご感想をありがとうございました。

- 皆明るく、楽しく過ごしているように思えました。日常の姿や年齢発達の特徴をパワーポイントで見せていただいて、自分自身の勉強にもなりました。(民生委員)
- とても自由にそれぞれが遊んでいて、楽しそうに過ごしているのが印象的でした。保育士の方と子ども達の距離感がいいと思いました。なかなか聞けない園で大切にしていることや第三者委員の方からの意見など、多方面から見た園の評価が聞けたのが、とても良かったです。(未入園の保護者)
- 民生委員さんなど知識や経験のある皆さんのお話が聞ける時間があり良かったです。子ども達の成長発達がプレゼンから分かりました。特にお兄ちゃんお姉ちゃんとの触れ合いの中で成長している姿がよく分かりました。こうゆう機会を増やしてほしいです。(未入園保護者)
- 『遊びは学び』というテーマが、どの保育士さんにも共通理解されていると思いました。環境を準備するタイミングや声掛けの仕方など素晴らしいと感じています。地域の皆さんの感想が聞けて良かったです。とても多くの方や地域に支えられて、子ども達が育っているのだと感じました。(教育委員会関係者)
- 未入園の保護者の方の参加人数がもう少し多ければ、もう一歩前に(話が広がる)向けるのでは?と思います。有意義な機会なので今後もこのような地域公開保育を続けていただきたいと思いました。(地域住民の方)
- 子ども達の「気付き・創造力・行動力」を大切にされています。情報交換会では、いろいろな立場でのご意見を聞かせていただいて参考になりました。地域への情報提供にもなるので、このような機会があれば参加したいです。(民生委員)

令和6年 12月の保育園だより

『地域における園の役割』

～つながりを深めながら学び合いを～

先月17日(日)広島県中学校駅伝大会が開催され、男子は坂中学校が大逆転優勝、女子は熊野東中学校が初優勝をしたというニュースが流れました。坂町民としては、今月15日(日)に滋賀県で開催される全国中学校駅伝大会にも期待を寄せるところです。

坂町からの移管後、園運営も10年目。坂みみょう保育園第一回卒園生が中学三年生になっています。坂中学校では毎年家庭科の授業の中に保育実習が組み込まれており、11/31(木)に町内の保育園、こども園4カ所に分かれて、夏休みの課題として取り組んだ手作り絵本を一人一冊、子ども達に読み聞かせをしたり、グループで考案した手作り玩具で触れ合ったりしながら保育体験をされました。

坂みみょう保育園には33名の生徒さんが来園されましたが、先日その時のお礼状も届けてくださいました。

その感想の中に、「終了後、体はぐったり頭はボーとしましたが、先生方は毎日この大変な仕事をされていると考えると尊敬しました。子ども達の繊細さと純粋さを上手く生かして、その場の雰囲気を楽しく、また素敵な場所を作っておられました。」
「幼児と触れ合って状況に応じた言葉選びが大変でした。これからの生活では、相手が今どう感じているのか、相手の気持ちを考えて接していきたいと思いました。」

「園内にパワフルな笑顔が溢れており、幼児の魅力を再確認させられました。また、幼児は感受性がとても豊かであり、一人ひとりにペースがあるということも実感しました。」
「僕はこの園の卒園生ではありませんが、先生方や園児の皆さんがとても明るく接して下さり、過ごしやすかったことが印象に残っています。実習後、僕は幼児のような素直さや純粋さを忘れていたことに気付きました。自分に消えていた素直なところを思い出して、これからは頑張りたいと思いました。」
「私は3歳児クラスに入りましたが、思っていたより自分でできることが多く、自分で考え、行動する力

もあるということを知りました。将来子どもに関わる仕事がしたいと考えていますが、今回の保育実習でさらにその気持ちが強くなりました。」

自分達の作った絵本や玩具が受け入れられるのか心配だったと語る生徒さん、実習中に生徒さん同士が声をかけ合う姿、実習終了後の振り返りの中で、同級生の発言にエールを送るかのような眼差しを送る姿も見かけました。進路決定の時期であり思春期のいろいろな葛藤を抱えていることなのでしょう。子ども達との触れ合いは、生徒さん達が自分自身を少し見つめる機会にもなったようです。

園名である『みみょう』は、一人ひとりがそれぞれ持っている自分の個性を發揮して輝いてほしいという願いが込められています。私達職員も意欲的で個性豊かに成長された生徒さんに接したことで、改めて一人ひとりの個性が光り輝く保育園の運営に繋がるよう、生活やあそびを通して主体的に学び、人と関わりながら自らの考えや思いをしっかり伝え合うことのできる保育を継続することの大切さを再確認いたしました。

子ども達が成長していく中で、さまざまな『人・もの・こと』と出会い、どのように成長していくのかを地域の皆様に見守って欲しいと考え、毎年地域公開保育を開催しています。実際に子どもたちの生活やあそびの様子を見たり、一緒にあそびに参加していただいたりしました。カフェタイムではお茶を飲みながら、乳幼児の発達やその時々の保育者の見守りや関わりについてお話しさせていただいたり、ご来園の皆様同士で意見交換をしたりする時間を設けたりもしました。(左記のアンケート参照)

その中で印象に残っている言葉があります。「子ども達と先生方の距離感がいい!」まだまだ職員とともに試行錯誤しながらの毎日ですが、その距離感が子ども達の主体性や状況判断力の育成には重要な鍵となり、質の高い保育を目指すには不可欠であることをお話しさせていただきました。地域の中で園の特色を生かし、園の役割を再考しながら、地域貢献できることを今後も実践し、学び合いたいと思います。(園長)

坂みみょう保育園

『幼児生活発表会』

子ども達の興味関心をもっている表現あそびをご家族一緒に楽しみながら、子ども達の成長を確認し合える場になればと思っています。

年齢ごとの入れ替えとさせていただきます。ご家族の人数制限はございません。きょうだいのおられる場合には、一度ご家族ともに退出していただき再度の入室となりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

つきましては、下記の事項についてご確認をお願い致します。詳しいしくは11/26(月)配信のきっすノートで再度ご確認ください。

日時：12月7日(土)

場所：坂みみょう保育園2Fホール

一部 午前9時～9時50分 年少・ちゅうりっぷ組

二部 午前10時～11時 年中・すみれ組

三部 午前11時10分～12時40分 年長・ふじ組

ひまわり組

※在園のきょうだいの保育希望の方は、担任までお知らせください。各クラスのプログラム終了までは在園のきょうだいの保育をいたしますので、ホールへは入りません。

※『生活発表会のしおり(プログラム)』は、12/5(木)に持ち帰りますので、ご確認ください。

※全体練習を12/3(火・午前9時～)に致しますので、幼児クラスは午前8時半までに登園させてください。当日と同じ服装でお願い致します。

乳児の保育参観・講演会アンケートより(11/16・土)

- なかなか廃材を使って何かを作ることはないので、ハサミでストローを切ったり、シールを貼ったりする娘の姿が見られほっこりしました。(2歳児クラス)
- 保育園でどのように過ごしているのか、自分でできることが増えていたり、こんなあそびが好きなのかと気づかされたり、作れそうな玩具もあつたりしていろいろな発見がありました。(1歳児クラス)
- クッキング(納豆と豆腐のおやき)では感触を楽しみながら一緒に作れたり、食べたりして美味しさを共有できたのも良かったです。(0歳児クラス)
- 管理栄養士の道祖友美先生の講演会は、分かりやすいスライドがあり、理解が深まりました。ワクワクできる環境作り、家族一緒に食事の時間を楽しみたいと思いました。